

八女茶をどうぞ

日本茶インストラクター 松本美紀子さん



家中で過ごす時間が増えて、なんだかイライラ。そんな時には、ゆっくり八女茶を淹れてみませんか。八女茶には体とこころに良い成分がたっぷりと含まれています。コロナ禍にあって、大人だけではなく子ども達にも気持ちをリラックスする時間の大切さを感じています。

毎日の何気ない時間を特別なひとときに。親子で淹れれば自然と会話も増えて、優しい気持ちになれますよ。

お茶を美味しい淹れる茶器

お気に入りの急須や湯のみを揃えて



お茶を淹れる基本の茶器セット

急須、人数分の湯のみ、湯冷まし、お客様には茶たくもあるといいですね。それぞれ代用できるもので十分です。

お気に入りの器でいただくと美味しい格別ですよ。

湯冷ましがなければ
コーヒーカップなどでも
代わりができます。



日本茶インストラクター直伝 ~コロナに負けない心の栄養~

おうち時間には

お茶を淹れましょう

ティーバッグのお茶でも
基本の淹れ方でやってみて!

ハ女茶を美味しい淹れるための基本のお話です。

基本を知っていれば、ハ女茶の楽しさが広がります。同じお茶の葉でもいろんな淹れ方を試してみて、自分の好きな味を見つけてみてください。

1 よく沸かしたお湯を、湯冷ましに入れます。



ポイント お湯は、よく沸騰させて。

やけどに気をつけて。

2 さらに、湯さましから人数分の湯のみにお湯を移します。



ポイント 湯飲みにお湯を移し替えながら適温まで冷めさせば、お湯の量を簡単に計りながら湯のみを温めることができます。

3 お湯を冷ましている間に急須に茶葉を入れます。



ポイント 1人前は、ティースプーン山盛り 1杯。

4 お湯が適温になったら、湯のみから急須にお湯を注ぎ 30秒～45秒待ちます。

ポイント お湯の入った湯のみを持ってみて、ちょっと熱いけど、持つことができる位が適温です。

静かに注ぎましょう



待つ間に急須を動かすと雑味が出るので、静かに待ちましょう。

5 湯のみに①→②→③の順番で少しづつ注いだら、今度は③→②→①の順番で、急須の中のお茶を注ぎきりましょう。



ポイント お茶の味が同じになるよう、少しづつ順番に。2煎目も美味しい淹れるためには、急須にお湯を残さないことが大切です。

急須から静かに降りてくる最後の一滴には美味しいが詰まっています。

6 茶たくに乗せて、さあ、どうぞ。



ポイント 2煎目は、1煎目より湯温はちょっと高く、浸出時間はさっと。